議員提出第７号議案

非核三原則の堅持と恒久平和に関する決議

上記の議案を提出する。

令和８年１０月２７日

提出者　東京都台東区議会議員

石　原　喬　子	大　浦　美　鈴
拝　野　　健	弓　矢　　潤
大　貫　はなこ	中　村　謙治郎
吉　岡　誠　司	高　橋　えりか
鈴　木　　昇	岡　田　勇一郎
田　中　宏　篤	松　村　智　成
中　澤　史　夫	青　鹿　公　男
本　目　さ　よ	村　上　浩一郎
風　澤　純　子	伊　藤　延　子
望　月　元　美	松　尾　伸　子
寺　田　　晃	早　川　太　郎
冨　永　龍　司	中　嶋　　恵
秋　間　　洋	髙　森　喜美子
石　塚　　猛	太　田　雅　久
小　坂　義　久	青　柳　雅　之

東京都台東区議会議長　　石　塚　　猛　　殿

（提案理由）

この案は、「台東区平和都市宣言」の理念を改めて確認し、平和研修で得た学びを次世代へ継承するとともに、非核三原則が我が国の政策上の方針として堅持されていることを踏まえ、「核兵器のない世界」と世界の恒久平和の実現に向けて努力し続ける決意を表明するため提出します。

非核三原則の堅持と恒久平和に関する決議

我が国は、世界で唯一の戦争被爆国であり、核兵器の惨禍を二度と繰り返してはならないとの強い決意の下、世界の恒久平和の実現に向けた歩みを続けてきた。

本区においても、平成７年に「台東区平和都市宣言」を行い、戦争による罹災経験を自らがもつ都市の住民として、平和の尊さを全世界に強く訴え、平和な社会を次の世代へ引き継ぐ取り組みを進めてきた。

また、台東区議会においても、議員が広島の平和記念式典及び長崎の平和祈念式典へ参列し、被爆の実相に触れ、平和の尊さと命の大切さを学ぶ取り組みを進めてきた。

「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」とする非核三原則は、昭和４２年に佐藤栄作内閣総理大臣が表明して以来、我が国の国是として堅持され、歴代内閣において政策上の方針として受け継がれてきた。

現在、我が国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しており、国民の生命と財産、平和な暮らしを守るため、現実の安全保障上の課題に適切に対応していくことが求められている。

同時に、唯一の戦争被爆国として、「核兵器のない世界」の実現に向けた我が国の使命は変わらない。核兵器国と非核兵器国双方との対話と連携を図りながら、現実的かつ実践的な核軍縮・不拡散の取り組みを進めていくことが重要である。

台東区議会は、「台東区平和都市宣言」の理念を改めて確認し、これまでの広島・長崎における平和研修で得た学びを次の世代へ継承するとともに、非核三原則が我が国の政策上の方針として堅

持されていることを踏まえ、「核兵器のない世界」と世界の恒久平和の実現に向け、不断の努力を続けていくことをここに決意するものである。

以上、決議する。

年　　月　　日

東京都台東区議会